

3. 自転車を取りまく国の動向と札幌市の関連計画

全国的にも自転車利用環境の課題解決に対する気運が高まる中、国は「これからの自転車配慮型道路における道路空間の再構築に向けて」を取りまとめました。ここでは、道路空間の再構築に向けた基本事項として、「人優先」、「バランス（歩行者・自転車・自動車）」、「パートナーシップ」という視点を打ち出し、歩行者と自転車と自動車の関係をあらためて見直すことが、安心・安全な交通環境の実現に重要であるということを示しました（図-6）。

これからの自転車配慮型道路における道路空間の再構築に向けて（骨子）

～歩行者と自転車の安心と安全を守るために～

1. 背景

安心・安全な交通環境へのニーズの高まり	自転車事故の増加	自転車利用に対する気運の高まり
---------------------	----------	-----------------

2. 歩行者・自転車の交通環境における現状の課題

歩行者・自転車のための道路整備が不十分	自転車利用者のルール・マナーの遵守意識が不十分
---------------------	-------------------------

3. 道路空間の再構築に向けた基本事項

人優先	バランス（歩行者・自転車・自動車）	パートナーシップ
------------	--------------------------	-----------------

4. 自転車を考慮した道路空間の実現に向けた5つの取り組み

国土交通省・警察庁による予算的・技術的な支援などが必要				
走行空間の原則 分離の推進	駐輪対策の着実 な実施	ルールの周知徹底・ マナーの向上	戦略的整備の 速やかな展開	ネットワーク計画や目 標を持った整備の促進

5. 留意事項

利用促進	多様な自転車利用	路上駐車対策
------	----------	--------

図-6 これからの自転車配慮型道路における道路空間の再構築に向けて（骨子）〔H19〕

資料：国土交通省HPから作成

一方で、札幌市においては、第4次札幌市長期総合計画をはじめ、札幌市都市計画マスタープランおよび札幌市環境基本計画の中で、『公共交通機関を軸とした交通体系の確立』、『持続可能なコンパクト・シティへの再構築』、『環境低負荷型の交通網をもつ都市の実現』などがまちづくりの目標として示され、自転車については、『歩行者・自転車の移動に関わる円滑性や安全性、楽しさなどを重視した空間の確保』、『歩行者・自転車にとって魅力的で利用しやすい空間の確保』、『環境負荷が少ない交通手段として徒歩や自転車を重視し、歩行者の安全確保のための自転車ルールなどの周知徹底、道路状況に応じた歩行者と共存する自転車走行空間の確保』などが示されています。